



**剣道スポーツ少年団全道大会出場**



剣道少年団では札幌市で開催された第31回北海道スポーツ少年団剣道交流大会に石狩管内の代表として出場しました。大会は11月26日からの2日間で行われ、当別町代表チームは予選リーグで1勝2敗と決勝トーナメントへの出場を逃しましたが、今後の活躍を期待しましょう。

(11月26日)

**道の駅運営会社がいよいよ始動**



平成29年9月に完成を目指す「(仮称)北欧の風道の駅とうべつ」の運営会社、株式会社<sup>トッペービー</sup>t o b e の設立発起人会が開かれました。

発起人会には、運営会社に出資する町・北石狩農協・町商工会の関係者が出席。同会では会社の定款案が示されたほか、出資額は町4千万円・農協500万円・商工会60万円とし、町内企業などにも出資を呼びかける方針を確認しました。同会での協議内容に基づき設立登記の手続きを進め、12月下旬の会社設立を目指します。

(12月7日)

**愛情あふれる子育て論を熱弁**



北海道・道医療大の主催で子育てや人生設計を考えるフォーラムが同大で行われ、町内外から学生・一般の方約200人が参加しました。

演劇ユニット「TEAM NACS」の森崎博之さんの基調講演では、自身の子育て奮闘の様子をおもしろおかしく伝え、参加者は森崎さんのトークに引き込まれていました。トークディスカッションでは同大の堀内ゆかり臨床心理学科長も加わり、「子どもが生後6カ月になるまでは母親が子どもにとっての安全基地になると、その後の子育てに上手につながる」と語りました。

(12月10日)



パンと生演奏で休日を満喫！



ふれあい倉庫で初開催となった「パンまつり」に多くの方が訪れ賑わいました。

会場では来場者がパンを買い求める中、吹奏楽団「当別アンサンブルファミリー」によるトロンボーンの演奏が始まりました。そして、休憩スペースでは、買い求めたパンを飲み物とともに味わいながら生演奏に耳を傾け、ゆったりとしたひとときを楽しむ姿も見られました。「ちょっとした時間にいろいろと楽しめて、とても良い時間でした」と来場者の満足した声も聞かれました。

(12月11日)

当別高シクラメン等を贈呈



当別高校園芸デザイン科2年の石山天南さんと浅野鈴以さんが校長・教頭とともにシクラメンとトマトジュースを町に贈呈されました。当別高校は実習でシクラメンやトマトを育てており、今回ミニトマトを使った全て手作りのトマトジュースも紹介されました。シクラメンの管理方法について町長に説明があり、町長と当別の花き栽培について話しました。

シクラメン・トマトジュースなどは、高校・ふれあい倉庫で限定販売されたとのことです。

(12月20日)

